

「新人目線」の用語解説

語句よみ

第203号



今回のテーマ トランプ政権はどうか？ 中間選挙前の論点整理

11月6日に米国で中間選挙が行なわれます。同選挙は大統領に対する信任投票という意味合いが強く、トランプ政権に対する国民の評価が示されることとなります。今回は、中間選挙の概要と、仮に「ねじれ議会」となった場合の影響を整理してみました。

日興アセットマネジメントの新人。営業推進部門に配属され、投信や経済について勉強中。

1. 米国の中間選挙

米国の中間選挙とは、4年ごとに行なわれる大統領選挙の中間の年に実施される選挙で、今年は11月6日に行なわれます。連邦議会における下院(435議席)のすべてと、上院(100議席)の約3分の1が改選されるほか、州知事選も行なわれます。

中間選挙は、大統領が就任してからの2年間の実績を踏まえ、国民の信任度合いが示される選挙と言えます。また、その後の政権運営はもちろんのこと、2年後の大統領選挙にも影響を与えるため、注目度が高い政治イベントと言えます。

現在は、上院・下院ともに、トランプ大統領が所属する与党・共和党が過半数の議席を保持しています。上院では、今回の改選対象となる35議席のほとんどは民主党の議席のため、共和党が過半数を維持するとの見方が優勢です。一方で、全議席が改選される下院では、世論調査における民主党への支持が高まっていることなどから、民主党が過半数を奪取するとの見方が強まっています。

その背景には、トランプ大統領の脱税疑惑や、同氏が最高裁判所判事に指名した人物の性的暴行疑惑など、足元でトランプ政権および共和党に逆風が相次いでいることが挙げられます。

ステップアップ

連邦議会における2大政党のうち、民主党は、伝統的に、福祉や公共事業、規制強化など、政府の介入を強める「大きな政府」としての政策を推進する一方、共和党は、市場原理を重視し、規制緩和などを通じて政府の介入を極力縮小する「小さな政府」を掲げています。



(次のページへ続きます)

□当資料は、日興アセットマネジメントが経済一般・関連用語についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。□投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

また、今回の選挙では、下院における共和党の現職議員のうち40名程度が引退を表明していることもあり、民主党が議席を奪取しやすい状況となっています。そのうえ、歴史的にも、中間選挙では、大統領就任から2年間が経過し、不満が高まりやすいことから、大統領が所属する与党が議席を減らしやすい傾向にあります。

一方で、米国の良好な経済状況は、トランプ政権および共和党にとってプラスに働いており、今後の展開次第で共和党への支持が回復する可能性も考えられます。接戦が見込まれるなか、どちらが勝利するか注目が集まります。

2. ねじれ議会

仮に、世論調査の通り、上院は共和党が過半数を維持、下院は民主党が過半数を奪取となれば、上下院で支配政党が異なる「ねじれ議会」となります。

そもそも、米連邦議会において、法案を可決する際には、原則として、両院それぞれで過半数の賛成が必要となります。そのため、ねじれ議会となれば、法案可決が困難となり、「決められない政治」に陥る可能性が高まります。例えば、債務上限(連邦債務残高の上限)の引き上げを巡って共和党と民主党が対立すれば、債券市場の不安材料となる可能性にも注意が必要です。

さらに、ねじれ議会の下では、トランプ大統領による追加減税などの政策実現の可能性が低下するとみられることも、市場で嫌気される可能性があります。また、同氏が大統領権限の大きい関税・通商政策に力を入れ、より強硬な態度をとる可能性も懸念されます。

ただし、トランプ政権による政策手段が限られ、民主党に歩み寄る姿勢がみられれば、政治的な不確実性が減り、市場にポジティブに働くとの見方もあります。また、財政拡張路線が修正されるとみられることは、債券市場にもプラスに働くと考えられます。

もちろん、上下両院で共和党が勝利し、ねじれ議会とならず、トランプ政権の勢いが増す可能性も考えられます。いずれにせよ、今後の米国政治の鍵を握る選挙として、注目が集まりそうです。

今後2年間の米国政治を左右するとみられる米中間選挙。投票結果はもちろんのこと、その後のトランプ政権の動きにも注目しておきたいところですね。

 facebook  twitter で、経済、投資の最新情報をお届けしています。

ステップアップ

民主党が下院で過半数を奪取すれば、トランプ大統領を弾劾訴追するよう動く可能性もあります。下院で過半数の賛成を得ることで、訴追ができるためです。ただし、罷免には、上院の3分の2以上の議員の賛成が必要であり、成立は容易でないと考えられます。

